

水産 A

〔例題 1〕 水産資源の資源量推定法に関する次の文章中の空欄に入るものとして正しいのはどれか。

水産資源の資源量推定の方法は、漁業から独立した科学的な調査によって得られたデータを用いて資源量を推定する直接法と、主に漁獲統計資料から資源量を推定する間接法に大別することができる。コホート解析（VPA）、DeLury法、面積密度法、目視法のうち、の二つは直接法に該当し、残る二つは間接法に該当する。

1. コホート解析とDeLury法
2. コホート解析と面積密度法
3. コホート解析と目視法
4. DeLury法と目視法
5. 面積密度法と目視法

【正答 5】